

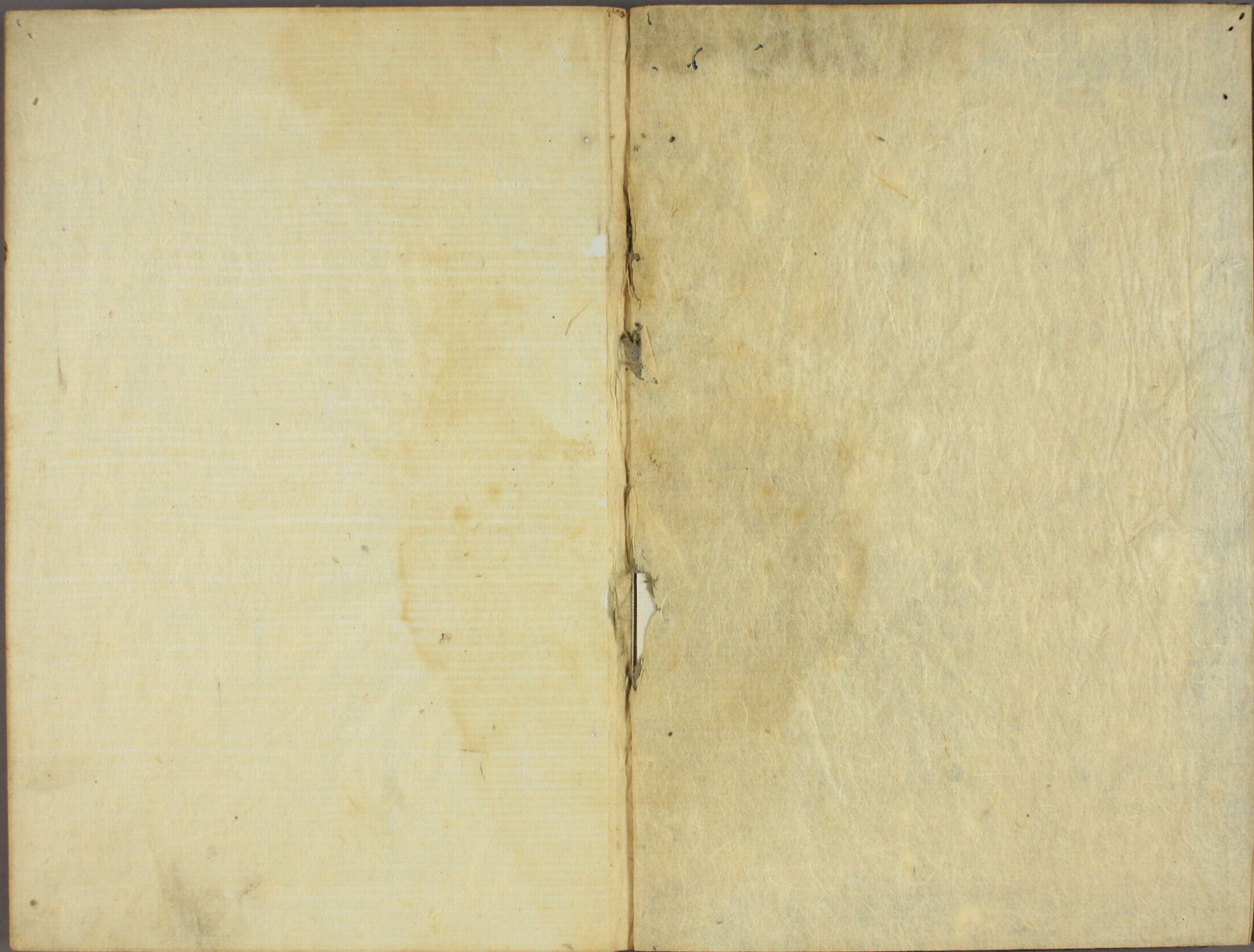


机
右
新

机

中村俊定文庫
文庫 18
1015
1







名所圖分目錄

山藏



石田	石田	石田	石田	石田	石田	石田	石田
常盤	常盤	常盤	常盤	常盤	常盤	常盤	常盤
有辰	有辰	有辰	有辰	有辰	有辰	有辰	有辰
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
弁田	弁田	弁田	弁田	弁田	弁田	弁田	弁田
善池	善池	善池	善池	善池	善池	善池	善池
宗法	宗法	宗法	宗法	宗法	宗法	宗法	宗法

九百一

大井川	大沼池	大原	大原	大原	膳清水
大草木	男心	鞆子	晴部	皇林	
雲居寺	栗柳舟	久奈岐	山科	八幡	
八幡宮	栲嶋	松崎	栲嶋	松尾	
船長	伊人	深草	夜草	木幡	
小幡	柏	嵐山	土橋川	花鳥川	
旭山	朝見山	暖坂	清洲	北野	
貴布祢	御所池	解原	美豆	白川	
恒電	氷之山	廣沃	平野	芥川	
伊駒	聖	磐巖	磐余	泊瀬	
	大和				

羽衣山	丹生	飛火	十市	豐寺
養老山	春日	柏森社	首藏	祐齋
金御嶽	片山	石野	龍白	高圓
高天	辰市	石白	袖振	奈良
那志	友箕川	六田	宇陀楚	大峯
姨捨	冬奈橋	志野	益田	極志
卷白	二上山	石河	布衣	天香
穴作	飛鳥	胡原	阿夫野	林條
青嶺	依保	栲嶋池	依保	清河
弓柳高	逝回	三笠	三輪	三笠
宮滝	水心	御愁	河原	廣瀬川

檜原 檜原川 菅原 菅原

河内

交野 波敷 天川 忍岳

和泉

高所 吹飯浦 信田

攝津

高田 堀江 遠里 布引滝

津南 淀橋 高所 玉川 高津

玉江 田養 津守 松波 長福

那古海 長井浦 鳴尾 武庫 猪石

真壁 泉陽 在馬 菅原 浅海

浅海 青山 水安 三馬江 美浦

淡川 淡心 三津 敷津 廣田

行石 酒磨

信守

伊勢海 伊勢 伊勢 赤文 五十鈴川

一志浦 小野 江 小野井 多志 若松原

补道心 淡江 淡川 宇多 大沓

生浦 山田 二見 清渚 御藏

宮川 三渡 鈴麻

尾張

鳴海 阿波子

冬河

橋

二村心

衣里

志有須香渡

遠江

引水細江

濱石

高野心

作事心

引馬登

駿河

心

田龜浦

浮嶋原

宇野心

弓乃溪

留士

木松杜

安陪

清見

之德

志善橋心

駿河海

伊豆

奥山鴻

古井森

甲斐

甲斐根

相模

新根

竹下

鶴心

小雀後磯

弓柄

武藏

鹿岡

玉河

立野

武藏野

白雲

安房

野嶋修

下総

其間

待乳心

角四川

常陸

鹿浦

若鷲

筑波

美奈乃川

近江

石山	伊吹	乞井	湖海	鳥菟山
小出敷	家嘉山	唐崎	鏡山	富田
小野	陸野	横川	金浦	玉河
石山	高嶋	谷上	七社	長等山
赤坂濱	宇津野	野路原	野鳥	老岩山
野洲	山井	志野	逢坂	日妻
心海	栗津	朝日里	万木社	三河濱
三上	水芝山	久尾	滋賀	滋賀樂
比良	比叡	日吉	守山	美濃水
美山	坊言山			

美濃

因幡山

野上

石段

美濃山

美濃山

因幡山

石段

位山

信濃

姨捨山

風越家

久米山

浅間

石明山

更級

木曾

新方海

上野

伊香保

作野

下野

宝八嶋

林右一

陸奥

磐平

十有浦

千有塩電

雁嶋

玉河

武隈

名取

奈古島

浮嶋

山并

松嶋

藤嶋

志和堂系

松有浦嶋

安積

安達

文城

佐支

塩電浦

白河

末松

岩

象泊

象河

越前

的

玉江

矢野

有乳

久瀨

越白根

白心

加賀

名指浦

奈美

卯心

三山

越前

有磯

越中

越山

越後

生野

神前山

大島

丹波

丹波

与射

浦嶋

吹井

天橋立

水江

入作山

但馬

高野山

石見

備前

印南楚

高砂

室浦

二見浦

明石

備前

備前

備前

出羽迫門

備前

細谷川

吉備中

妹背山

紀伊

岩代

磐田川

吉野

若浦

玉河嶋

高野

玉河

那智

熊野

侍乳山

吹上

藤代

紀伊海

中呂

野嶋

淡路嶋

淡野

能登

阿波

鳴門

備前

松山

松野浦

筑前

机右一

生和原

箱崎

木丸敷

白川

七

肥前

玉馮

松浦

領中振心

大隅

氣友社

未初園

入野

入日呂

化野

机右鈔第一

何行と

石清水

山崎

松

室所一わきく松の石清水のくはるゝ

増基師

石清水にありてゆりてその松の木は

伝説の松といひゆりて松をけりてゆり

日

まじりて常の松の松の松の松の松

長子

森松

石清水の松の松の松の松の松

徳運師

石清水の松の松

新松

りり松の松の松の松の松の松

松

石清水の松の松の松の松の松

石清水の松の松の松の松の松

松 月 松 松 松

机右一

木右一

松若

後を松 松生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

瑞籬

初後を松 瑞籬松生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

藤

若 藤生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

竹青

若 竹生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

と家

若 家生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

若 家生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

若 家生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

若 家生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

若 家生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

名越後

若 名越後生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

瑞籬 山 林 同

社

松 社生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

林

松 林生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

滝

松 滝生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

玉

松 玉生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

可

松 可生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

松生ふと若しと信ねた末を信じて今らん 信之

凡右一

松原

松原の松の葉は新芽は所後

社の内よりかき出さるる

相形下 松原の松の葉は新芽は所後

松原の松の葉は新芽は所後

日 松原の松の葉は新芽は所後

松

相形下 松原の松の葉は新芽は所後

松

尾

相形下 松原の松の葉は新芽は所後

尾

坂

日 松原の松の葉は新芽は所後

坂

松原

相形下 松原の松の葉は新芽は所後

松原

峯

相形下 松原の松の葉は新芽は所後

峯

相形下

松原の松の葉は新芽は所後

松原

日

松原の松の葉は新芽は所後

松原

日

松原の松の葉は新芽は所後

松原

日

松原の松の葉は新芽は所後

松原

日

松原の松の葉は新芽は所後

松原

日

松原の松の葉は新芽は所後

松原

松原 宮社 日

松原の松の葉は新芽は所後

松原

松原

松原

松原

松	馬	玉川	後	竹	筆	松	里	柏	松	後
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
下る水とつらぬ川河を流すは	泉河の松とて	好の文と流すは泉河に	麻の葉も水とて	白松は	竹の葉も水とて	松の葉も水とて	夜をかりに	泉河の	松の葉も水とて	松の葉も水とて
秋	後	家	後	松	松	松	松	松	松	松

久	揚	鴨	湯	太	三	油	科	林	維
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
さしと	泉河の松とて	泉河の松とて	泉河の松とて	泉河の松とて	泉河の松とて	泉河の松とて	泉河の松とて	泉河の松とて	泉河の松とて
松	松	松	松	松	松	松	松	松	松

九十一

十三

柞葉

日下

好くは白く葉の柞葉の如くすくはるる

鶉

後

鶉の如くすくはるる

麻

新採

柞葉の如くすくはるる

唇

新採

唇の如くすくはるる

芝

去

芝の如くすくはるる

足跡

去

足跡の如くすくはるる

呵

日

呵の如くすくはるる

子苗杜

日

子苗杜の如くすくはるる

薄

日

薄の如くすくはるる

萩

日

萩の如くすくはるる

接衣

日

接衣の如くすくはるる

葛

日

葛の如くすくはるる

柏

日

柏の如くすくはるる

恙菜

若

恙菜の如くすくはるる

生駒

山

和

萩麻

若

萩麻の如くすくはるる

蜂葉

日

蜂葉の如くすくはるる

蝟

日

蝟の如くすくはるる

海苔

日

海苔の如くすくはるる

新採

新採の如くすくはるる

三平共ては生薬の類はくつりつり
字の道程の奇

鳴尾

後採集
鳴尾の地味は高野の地味と今も高野の地味と
後採集
鳴尾の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

長井酒

後採集
長井酒の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

檜

後採集
檜の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

難波茶

日下
難波茶の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

林

日下
林の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

秋篠茶

日下
秋篠茶の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

馬酔花

日下
馬酔花の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

尾越茶

日下
尾越茶の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

高安茶

高安茶の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

藤野茶

日下
藤野茶の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

谷川

日下
谷川の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

本庫

日下
本庫の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

栲

日下
栲の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

文野

日下
文野の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

石工 日

時鳥

日下
時鳥の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

高野の地味は高野の地味と今も高野の地味と
日

浦

高田

高田の村は古くは高田の村と云ふなり

繁

繁の村は古くは繁の村と云ふなり

時名

時名の村は古くは時名の村と云ふなり

水

水の村は古くは水の村と云ふなり

森

森の村は古くは森の村と云ふなり

三島

三島の村は古くは三島の村と云ふなり

塚

塚の村は古くは塚の村と云ふなり

石

石の村は古くは石の村と云ふなり

宮

宮の村は古くは宮の村と云ふなり

川

川の村は古くは川の村と云ふなり

谷

谷の村は古くは谷の村と云ふなり

繁余池

池

池の村は古くは池の村と云ふなり

萩

萩の村は古くは萩の村と云ふなり

女

女の村は古くは女の村と云ふなり

高

高の村は古くは高の村と云ふなり

日

日の村は古くは日の村と云ふなり

日

日の村は古くは日の村と云ふなり

日

日の村は古くは日の村と云ふなり

日

日の村は古くは日の村と云ふなり

浦

浦の村は古くは浦の村と云ふなり

生田浦

浦

浦の村は古くは浦の村と云ふなり

五五

五五

津の國は住むる人多くはたためとては
とてこのりわりをいはさうり

初見好 志行はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

湊川麻 後注航 湊川うまの麻中ゆまの村の麻麻の群 後注航

初見好 志行はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

志 後注航 志行はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

月報二 志行はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

紫 志行はたけり物と海國のまの村の海城の同好

海 後注航 志行はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

町 新注航 志行はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

布川庵 新注航 志行はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

妹 大信郎 妹はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

茶 源氏 茶はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

新 源氏 新はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

葛 志行 葛はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

池 志行 池はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

高 志行 高はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

萩 志行 萩はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

里 志行 里はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

原 志行 原はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

芝 志行 芝はたけり物と海國のまの村の海城の同好 後注航

九

一

次廣

日

此の守具村なる人等ありて其地浦内

無名

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

磯

日

此の地なる人等其地を磯と云ふ

磯

新編

七

極貝

於送書より、世に海から波の極貝のひき浦のその文并

入江

玉介、いそ海入りのまは汐干溜るまのまはひり

砥中道

新六、いそ海の中道にけむる約は極をあら

松

春、いそ海にまける松の長はりの月松あり

蓬屋

いそ海まきの蓬屋は松をいそりしう海風吹

伊勢良港

いそ海にまける伊勢良港はいそりしう海風吹

早倉渡

いそ海にまける早倉渡はいそりしう海風吹

的

いそ海の清波、約まける約はいそりしう海風吹

葦

いそ海のわたり葦原、約まける約はいそりしう海風吹

三波

いそ海にまける三波、約まける約はいそりしう海風吹

伊勢海

同

孤業

新七郎十、いそ海にまける孤業、約まける約はいそりしう海風吹

一志浦

いそ海にまける一志浦、約まける約はいそりしう海風吹

横大

いそ海にまける横大、約まける約はいそりしう海風吹

比海

いそ海にまける比海、約まける約はいそりしう海風吹

天松原

いそ海にまける天松原、約まける約はいそりしう海風吹

貝海松

いそ海にまける貝海松、約まける約はいそりしう海風吹

濱萩

いそ海にまける濱萩、約まける約はいそりしう海風吹

二見

いそ海にまける二見、約まける約はいそりしう海風吹

洞

いそ海にまける洞、約まける約はいそりしう海風吹

粘使

いそ海にまける粘使、約まける約はいそりしう海風吹

伊勢良港

いそ海にまける伊勢良港、約まける約はいそりしう海風吹

雲江吟

日

いせの月夜に雲江のほとけの松林村に

雲備

日

備前松林のほとけの松林村に

伊勢神

回

玉串

新庄と松林

松林のほとけの松林村に

林

新庄と松林

松林のほとけの松林村に

八公産

我松林

松林のほとけの松林村に

伊勢神の年よりゆりて松林

朝日又

我松林

松林のほとけの松林村に

多木

我松林

松林のほとけの松林村に

林松心

新庄と松林

松林のほとけの松林村に

大松林よりゆりて松林村に

ゆりて松林

松

新庄と松林

松林のほとけの松林村に

為尾花

多木

松林のほとけの松林村に

豊島船

日

松林のほとけの松林村に

豊文

日

松林のほとけの松林村に

斎宮

回

松林のほとけの松林村に

松林のほとけの松林村に

松林のほとけの松林村に

松林のほとけの松林村に

松林のほとけの松林村に

松 鏡

多木

松林のほとけの松林村に

金葉上

松林のほとけの松林村に

き水

き水は河勢の奔文あくき水りむの
なれらるとかたの花さけふそぬおく
さしきさきさきとけりしよあはれ

湯田

日

湯田の湯はけく湯田の湯の湯はけく
けきけ湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく

集

宇多

日

宇多の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく

鳴田

よはれりて

六十餘河 日

湯舎

新在文

日暮

湯舎の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく

文和

日

文和の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく

集

松

日

松の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく

礪文

後達法

物接法

礪文の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく

集

林松

手考者

林松の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく

集

花

手考

花の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく
湯田の湯はけく湯田の湯はけく

集

後

末

くまのこゝろは後なる神に人

糸

日

くまのこゝろは後なる神に人

麻

日

くまのこゝろは後なる神に人

五十鈴

日

くまのこゝろは後なる神に人

一志浦 池 日

破葉

新抄下

くまのこゝろは後なる神に人

雲

新抄下

くまのこゝろは後なる神に人

子鳥

乙未

くまのこゝろは後なる神に人

藤原

新抄下

くまのこゝろは後なる神に人

池橋

乙未

くまのこゝろは後なる神に人

引物細 遠白

遷漂

乙未

くまのこゝろは後なる神に人

鳥音

乙未

くまのこゝろは後なる神に人

子鳥

末

くまのこゝろは後なる神に人

乙未 末

極

新抄上

くまのこゝろは後なる神に人

月

新抄上

くまのこゝろは後なる神に人

蛸

新抄上

くまのこゝろは後なる神に人

演

新抄上

くまのこゝろは後なる神に人

演

新抄上

くまのこゝろは後なる神に人

花

日

あはれの花は春の風をよめぬ
心ゆくもあはれなるは春の風をよめぬ

為家

あはれは春の風をよめぬ

あはれは春の風をよめぬ

あはれは春の風をよめぬ

あはれは春の風をよめぬ

あはれは春の風をよめぬ

伊吹 山 嶽 日

後進更

あはれは春の風をよめぬ

善房

後進更

あはれは春の風をよめぬ

善房

嶽育南

初進更

あはれは春の風をよめぬ

善房

鶯

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

松

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

紫

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

目暮

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

山吹

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

町子

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

梅里

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

梅園所

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

麻

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

余石海

日

あはれは春の風をよめぬ

善房

約

言ふはあはれ吹た風約らけりし雲霞川 香徳

因幡山 嶺 養儀

松

別はくはたの松まきとせしむる 素浄

阿多

鳴かしてけりたの阿多松まきとせしむる 松徳保

糸

糸まき松まきとせしむる松まきとせしむる 源光

杉

杉まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

田

田まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

学

学まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

花

花まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

藤

藤まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

石

石まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

若

若まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

新

新まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

夜

夜まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

月

月まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

水

水まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

蔣

蔣まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

草

草まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

地

地まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

岩

岩まき松まきとせしむる松まきとせしむる 松徳保

水鳥原

三花

水鳥原の春をうらむに此原のうきを

春光

花言妹

新株元

花言妹の春をうらむに此原のうきを

長子

新子

二回里
木村野

陸奥

谷留木

蔵一

谷留木の春をうらむに此原のうきを

新補

水

日一

水鳥原の水をうらむに此原のうきを

水鳥原

春碑

新子

春碑の春をうらむに此原のうきを

春光

花

後子

花言妹の春をうらむに此原のうきを

花言妹

伝文

後子

伝文の春をうらむに此原のうきを

伝文

天宮

春

天宮の春をうらむに此原のうきを

天宮

里梅

日

里梅の春をうらむに此原のうきを

里梅

長藤

日

長藤の春をうらむに此原のうきを

長藤

山吹

日

山吹の春をうらむに此原のうきを

山吹

杜可

日

杜可の春をうらむに此原のうきを

杜可

野毛

日

野毛の春をうらむに此原のうきを

野毛

麻

日

麻の春をうらむに此原のうきを

麻

柞

日

柞の春をうらむに此原のうきを

柞

薄

日

薄の春をうらむに此原のうきを

薄

楨

日

楨の春をうらむに此原のうきを

楨

久遠

新

葉

春

葉の春をうらむに此原のうきを

葉

貝

日

貝の春をうらむに此原のうきを

貝

河

日六

河の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

照村

日七

照村の村に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

橋

日八

橋の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

岩

日九

岩の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

日十

日十

日十の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

日十一

日十一

日十一の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

日十二

日十二

日十二の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

河

日十三

河の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

麻

日十四

麻の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

甘南花

日十五

甘南花の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

尾花松

日十六

尾花松の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

野中水

日十七

野中水の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

照村

日十八

照村の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

橋

日十九

橋の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

岩

日二十

岩の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

歩人萩

日二十一

歩人萩の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

葛

日二十二

葛の川に舟を乗せたり舟の舟の舟

舟

九

七

明石

日

明石浦迄の所は信くも又神くも平もたれ

百家

多摩浦

日

わさりと平もた浦迄も我もささくは

百家

新海

日

情態なる平もた海に舟て新海なる公和船も

中書

新海

日

平もた海に舟て新海なる公和船も

人書

清水

日

清水なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清水

尾花

日

平もた海に舟て新海なる公和船も

尾花

尾花

日

平もた海に舟て新海なる公和船も

尾花

吉野

日

吉野なる平もた海に舟て新海なる公和船も

吉野

吉野

日

吉野なる平もた海に舟て新海なる公和船も

吉野

吉野

日

吉野なる平もた海に舟て新海なる公和船も

吉野

新海なる平もた海に舟て新海なる公和船も

新海

とととととととととと

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

清

日

清なる平もた海に舟て新海なる公和船も

清

紫

曰 山寺中ふらふ紫花一帯の傍をそとを流る

伝六

花

新撰花 花のふらふらとせし廣くはくしり花を

伝八

花

花 花のふらふらとせし廣くはくしり花を

伝九

若河

曰

花野(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

花

後撰花

花田(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

伝七

夏然野(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

下(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

花

松
素

松(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

伝五

花

花

後撰花

花(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

伝四

花

素

花(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

伝三

花

素

花(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

伝二

花

後撰花

曰

有由(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

花

素

花(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

伝一

花(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

花

後撰花

花(由)のふらふらとせし廣くはくしり花を

ほろろ〜のそら

日部

とむらひのそら原をこたへて身おとす

あま後集

藤

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あま後集

藤

はなはな月つりにあつらひのそら原をこたへて

とむらひのそら原をこたへて身おとす

ほろろ〜のそら

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あつらひのそら原をこたへて身おとす

とむらひ

源頼清朝臣をこたへて身おとす

わらわ〜のそら

日部

なつてほろろ〜のそら

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あま後集

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あつらひのそら

日部

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あま後集

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あつらひのそら原をこたへて身おとす

日部

あつらひのそら原をこたへて身おとす

あま後集

あつらひのそら原をこたへて身おとす

扇

義別

じうせんじうりきうくわくもいそとくは松 扇原書

大業所造の扇をいふに扇原とて

とくは松原の扇をいふに扇原とて

松原の扇をいふに扇原とて

とて扇原の扇をいふに扇原とて

後注 扇原の扇をいふに扇原とて

扇原の扇をいふに扇原とて

入野

車助

貝

義別

乃をいふに貝原のつらきまの貝をいふに貝原とて

苺

義別

之をいふに苺原のつらきまの苺をいふに苺原とて

栲

後注

栲人の栲原のつらきまの栲をいふに栲原とて

薄

義別

乃をいふに薄原のつらきまの薄をいふに薄原とて

花

義別

乃をいふに花原のつらきまの花をいふに花原とて

尾

義別

乃をいふに尾原のつらきまの尾をいふに尾原とて

系

義別

乃をいふに系原のつらきまの系をいふに系原とて

次

義別

乃をいふに次原のつらきまの次をいふに次原とて

駒

義別

乃をいふに駒原のつらきまの駒をいふに駒原とて

結

義別

乃をいふに結原のつらきまの結をいふに結原とて

明

義別

乃をいふに明原のつらきまの明をいふに明原とて

秋

義別

乃をいふに秋原のつらきまの秋をいふに秋原とて

入日

日

初條

管

著意此の陸奥船を八日舟に結ぶ也

高田

船

兼

河内舟船より北に流る八日舟ありて

高田

船

又

若くは舟の船よりまきこゝの舟ありて

高田

松葉

